

北東州道路網連結性改善計画（フェーズ１）（第一期）【インド】

施策所管局課 国別開発協力第二課

評価年月日 令和８年４月

1 案件概要	
(1) 供与国名	インド共和国
(2) 案件名	北東州道路網連結性改善計画（フェーズ１）（第一期）
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	インド北東州における国道 51 号線及び 54 号線の改良などを行うことにより、同地域内及び国内外他地域との連結性向上を図り、もって同地域内の経済成長の促進及び貧困・環境問題の改善に寄与するもの。 事業の内容 ・ 国道 54 号線の道路改良 ・ 国道 51 号線の道路改良 ・ コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成 28 年 3 月 29 日 イ 供与限度額：671.7 億円 ウ 金利：1.4%（コンサルティング・サービスについては、0.01%） エ 償還（据置）期間：30 年（10 年） オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業の計画当初、インド北東州は山岳地帯が多く、道路舗装率は全国平均 63.4%を大きく下回る 28.5%となっており、脆弱な道路網が物流・住民移動を著しく制約していた。また、対象地域の一人当たり GDP は 34,405 ルピー（2010-2011 年）と全国平均の 59,606 ルピーと比較して低く、地域格差が深刻であった。加えて、多雨による土砂災害が頻発し、交通遮断が常態化するなど、域内外との連結性が十分でなく、道路交通基盤の強化は地域経済活性化のため不可欠であった。 現在も同国では、北東州における経済成長の促進及び貧困・環境問題の改善が必要な状況であり、本事業に関する社会的ニーズがある。 イ 事業遅延に関する経緯・現状

	用地取得の遅れにより事業開始が遅れたことに加え、工事中にメガラヤ州を通る国道 51 号線の一部区間で地滑り発生リスクが高いことが確認されたことから、その対策の検討及び実施に時間を要し事業全体に遅延が生じた。現在、工事は最終段階にある。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、当初予定どおりの効果が見込まれているため、完工に向けた工事進捗をフォローしつつ、本事業を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 政策評価法に基づく事前評価書 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ その他国際協力機構から提出された資料